



第3回 ホームホスピス実践者育成塾

一般社団法人 全国ホームホスピス協会

ホームホスピスは単に「住まい」というかたちにとどまらず、地域全体に働きかけるホスピスムーブメントの拠点です。今、その理念、目的、かたちに共感した人たちによって、全国各地に開設され、ムーブメントの輪がさらに広がろうとしています。

ホームホスピスは「生えてきた」と表現されるように、開設された地域の風土、土壌にかなう「住まい」でなければ健やかに育っていきません。一方で、制度の枠にとらわれないという性格上、開設された地域の条件や開設する人たちの思いによっても、そのかたちやケアの内容に幅と濃淡が出てきます。私たちは、均一化は求めず、それぞれの個性を大切にしたいと思っています。

しかし、だからこそホームホスピスの質の担保が重要と考え、協会では、2015年に「ホームホスピスの基準」をつくりました。また、その評価のためのレビューを導入して、認定ホームホスピス制度を設け、より具体的に相談を受けたり助言したりする機会としています。さらに、一昨年合宿形式で実践者育成塾を開講し、今年は第3回目になります。

今回の総論のテーマとして再度「環境・空間」を取り上げました。なぜ、既存の「家」を使うのか。「家」という環境が、そこに暮らす人、スタッフ、さらにはケアのあり方を決定づけることについて解説し、また、既存の家と新築の場合の事業スキームの違いについてなど、より具体的に考えていきます。

育成塾の対象は、日本財団のリーダー研修受講生、ホームホスピスの運営・管理者とスタッフ、また、ホームホスピスに関心があり、ゆくゆくは開設したいと考えている方です。また、既存のホームホスピスにとっては、フォローアップ研修の場でもあります。講師陣には、ホームホスピスの理解者であり、各専門分野での業績が高く評価されている方々を迎え、ホームホスピスへの考えを深め、自身の活動を振り返る機会にしたいと思います。

裏面のプログラムのとおり「総論」と「各論」の2回に分けて実施します。皆様のご参加をお待ちいたします。

□対象受講者：ホームホスピス実践リーダー研修生／正・準会員／賛助会員

ホームホスピスに関心があり、開設したいと考えている方

総論 〈2019年6月15日～16日〉

日
時
場

- 2019年6月15日(土) 10:30～17:00 ホームホスピスの理念・環境
- 6月16日(日) 9:30～16:00 ホームホスピスの組織づくり・運営
- 開催地：明治大学中野キャンパス 高層棟5階515教室〈東京都港区中野区中野4丁目21-1〉
- 受講料：研修費 会員 11,000円 非会員 16,000円(昼食は各自でお願いします)
- 定員：150名
- *「総論」は、各人で宿泊の手配をお願いします。

各論 〈2019年7月8日～10日〉

所
受
講
料
な
ど

- 2019年7月8日(月) 13:30～18:00 ホームホスピスのチームケア
- 7月9日(火) 9:30～16:30 日々の生活支援ケア
- 7月10日(水) 9:00～16:00 ワークショップ
- 開催地：伊勢神宮会館〈三重県伊勢市宇治中之切町152 電話：0596-22-0001〉
- 受講料：研修費 18,000円 非会員 23,000円
- 宿泊費：22,000円〈2泊3日6食〉
- 定員：60名

*なお各会場の都合で、定員を超えた場合お断りすることがあります。



【お問合せ先】

〈お申込みは、別紙申込書にてお願いします〉

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局 〈月～金 10:00～17:00〉

〒880-0913 宮崎市恒久2-19-6 TEL 0985-65-8087 FAX 0985-53-6054 email info@homehospice-jp.org

【目 的】

1. ホームホスピスを運営している人だけでなく、これから開設したいと考えている人が、ホームホスピスの理念と運営、ケアの実際について学び、広い視野をもって活動できる能力を養う。
2. ホームホスピスに関する多方面からの講義を聴き、自分の考えを深める機会とする。
3. ホームホスピスの運営には、利用者の確保、地域とのつながり、自治体との関係づくり、消防法や建築基準法などへの配慮と対処、経済的負担など多くの課題がある。今から開設する人は、運営者としてその課題に取り組むための姿勢を学び、すでに開設している人は、これまでを振り返り、現状を認識し、今後のよりよい運営につなぐ機会とする。

「総 論」 2019年6月15日(土)～6月16日(日)

東京会場〈明治大学中野キャンパス 高層棟5階515教室〉

□ 2019年6月15日(土) ホームホスピスの理念、ホームホスピスの環境

| 時 間 | テーマ | 内 容 | 講 師 |
|-------------|-------------------------------|---|-----------------------------------|
| 10:00～ | 受 付 | | |
| 10:30-11:30 | ホームホスピスとは何か | ホームホスピスの広がりや現在。理念を具現化していくための取り組みや看取りの文化の復活など、市民活動としてのあり方を考える。 | 市原 美穂 全国ホームホスピス協会 理事長 |
| 11:30-13:00 | ホスピスとは何か | ホスピスの本来の意味と役割、市民運動としてのホスピスについて。また、医療とホスピスの関わりについて学ぶ。 | 林 章敏 聖路加国際病院 緩和ケア科 |
| 13:00-14:00 | 休 憩 | | |
| 14:00-15:20 | 老いの住まい 「ケア論」再考 | 「看取り」に特化した家、施設の需要が急速に高まる中、地域とともに生きるホームホスピスの役割を考える。 | 高橋 紘士 東京通信大学教授 (財)高齢者住宅財団顧問 |
| 15:30-17:00 | どうやって人を育てていくか ケアチームのマネジメント | 介護の現場で、自立した考えをもって行動できるスタッフを育てるためには何が必要かなど、ホームホスピスに共通する課題にヒントを与える。 | 竹熊 カツマタ 麻子 筑波大学医学医療系国際看護学科教授 |

□ 2019年6月16日(日) ホームホスピスの組織づくり・運営

| | | | |
|-------------|-------------------------|---|---|
| 8:30-9:30 | モーニングギャザリング | 参加者、協会役員等との自由な交流タイム。 | 理事全員と参加者 |
| 9:30-9:45 | 日本財団 挨拶 | 日本財団から在宅医療・介護への取り組み、方針、支援などについて。 | |
| 9:45-10:30 | 「住まい」づくりの進め方 | 住まいづくりの第一歩から設計開始までの進め方を流れに沿って、検討しなければならないことや建築に関わる法律についてお話しします。 | 吉川 みゆき みゆき設計事務所 代表 |
| 10:30-11:50 | ホームホスピスという空間の課題 | 既存の「家」を使う意味—環境としての「家」、魂の器としての「家」とそこでも暮らしする人たちが相互の影響を考える。 | 園田眞理子 明治大学理工学部 建築学科教授 |
| 11:50-13:00 | 休 憩 | | |
| 13:00-14:30 | 働き方をデザインする 労務管理の立場から | 「働き方改革」元年の今年、スタートアップ期の事業者が知っておきたい労務管理の要点、助成金等について実務家がアドバイス。 | 高浪 賢一 高浪社会保険労務士事務所代表 社会保険労務士 医療労務コンサルタント |
| 14:40-16:00 | ホームホスピスの組織 と運営について | ホームホスピスにおける組織の役割、事業スキーム、地域との協働体制の構築、情報公開と安全管理について考える。 | 黒岩 雄二 全国ホームホスピス協会 事務局長 |

*モーニングギャザリングは自由参加です。

「各 論」 2019年7月8日(月)～7月10日(水)

伊勢会場〈伊勢神宮会館〉

□ 2019年7月8日(月) ホームホスピスのチームケア

| 時 間 | テーマ | 内 容 | 講 師 |
|-------------|---------------|--|---------------------------------------|
| 12:45～ | 受 付 | | |
| 13:15-13:30 | オリエンテーション | | |
| 13:30-15:00 | 生活を分断しない医療 | ホームホスピスにおける在宅医療の役割と連携について学ぶ。 | 遠藤太久郎 いせ在宅医療クリニック院長 |
| 15:10-16:40 | 足元からバランスをよくする | 足や膝、股関節、腰などの慢性的な症状を、足元のバランスを整えることで改善し、身体各所にかかる負担を軽減、健康維持・増進、トラブルを予防する。 | 佐々木克則 (株)Balance Care 代表取締役 |
| 16:50-18:10 | 排泄のケア | 排泄の習慣を整え、暮らしのリズムを取り戻す。 | 榊原 千秋 (同)プラスぽぽぽ代表社員 おまかせうんちッチ代表 |
| 19:00-21:00 | 懇 親 会 | | |

□ 2019年7月9日(火) 日々の生活ケア

*朝食前に伊勢神宮内宮の参拝ができます。

| | | | |
|-------------|-----------------------|--|---|
| 9:30-10:50 | 暮らしを整えるケア 看護と介護の連携 | 「ホームホスピスの基準」から「暮らしを整えるケア」について具体的に解説し、現場での看護と介護の協働について考える。 | 松本 京子 神戸なごみの家管理者 |
| 11:00-12:30 | 看取りまでの意思決定支援 | 看取りにいたるまでの長い期間、その時々で揺れ動く本人・家族の気持ちに寄り添い、決断を支えるとはどのようなことか ACPの本当の意味を考える。 | 宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表 |
| 12:30-13:30 | 休 憩 | | |
| 13:30-15:00 | 最後まで食べるための 口腔ケア | 食べるためにはお口のケアは必須です。最後までお口のケアと食べることを嚥下障害や栄養とつなげながらお話しします。 | 坂井 謙介 坂井歯科医院院長 |
| 15:10-16:40 | 食と栄養支援 | 栄養状態を探り、本人の望む暮らし、生活機能、疾病リスクを見つける。地域や被災地で活動する訪問栄養士の手法を紹介。ワークショップあり。 | 奥村 圭子 杉浦医院地域ケアステーション 「はらべこスパイス」室長 管理栄養士 |

□ 2019年7月10日(水) ワークショップ

| | | | |
|-----------------------------------|------------|---|--|
| 9:00-15:00 12:00-13:00 は 昼食 | 課題と解決方法の共有 | ホームホスピスの課題を持ち寄り、明日に向けた展望を共に考える。それぞれの現場を持ち帰るために。 | 奥村 玄 GEN プランニング代表 総務省地域づくりアドバイザー |
|-----------------------------------|------------|---|--|

*「各論」の研修受講は、宿泊を原則とします。

*リーダー研修生、研修予定者はすべてのプログラムを受講してください。

*なお、プログラムに若干の変更(講師、時間帯)の可能性もあります。

【講師紹介】講演スケジュール順

| 東京会場 | | |
|------------|---|---|
| 市原 美穂 | 全国ホームホスピス協会 理事長 | 認定 NPO 法人ホームホスピス宮崎理事長。04 年に「ホームホスピスカあさんの家」を開設し、現在宮崎市内に 3 軒を運営する。2015 年「保健文化賞」(第一生命・厚生省)、2018 年「第 5 回エクセレント NPO 大賞組織力賞」など受賞。 |
| 林 章敏 | 聖路加国際病院 緩和 ケア科 | 日本緩和医療学会認定緩和医療専門医。聖路加国際病院緩和ケア科医長。1989 年、淀川キリスト教病院ホスピス医員を経て、日本バプテスト病院ホスピス長。マイケルソーベルハウス、Monash University で研修を受ける。 |
| 高橋 紘士 | 東京通信大学教授 (財) 高齢者住宅財団顧問 | 法政大学、立教大学、国際医療福祉大学大学院等の教授を経て現職。ケア政策、地域福祉の領域が専門分野。現在は「住まい」という視座から地域包括ケアに取り組み、各地の福祉現場を視察、提言する。 |
| 竹熊 カツマタ 麻子 | 筑波大学医学医療系 看護学教授 | 看護学博士・経済学修士、看護師・クリニカルナースリーダー。日本バプテスト看護専門学校にて看護を学ぶ。2017 年より現職。米国と日本を行き来しながら、看護教育・研究活動に携わる。現在、筑波で「看護の寺子屋」実践。 |
| 吉川みゆき | 有限会社みゆき設計事 務所代表/一級建築士 | 日本大学卒業。1986 年、飛栄産業株式会社入社。1996 年、設計工房みゆき設立。2005 年、有限会社みゆき設計に法人化。淑徳大学短期大学部インテリアデザイン論・福祉環境論兼任講師。正しい家づくり研究会主催。 |
| 園田真理子 | 明治大学理工学部建築 学科教授/一級建築士 | 千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。市浦都市開発建築コンサルタンツ、日本建築センター勤務後、1997 年より明治大学理工学部建築学科専任講師、同大学助教授を経て、2009 年より現職。 |
| 高浪 賢一 | 高浪社会保険労務士事務 所代表 社会保険労務士 医療労務コンサルタント | 1997 年、社会保険労務士、行政書士試験合格。顧問先企業の労務コンサルに従事する傍ら、福岡県医療勤務環境改善センターの医療労務管理アドバイザーとして、医療機関の労務管理適正化の支援に取り組んでいる。 |
| 黒岩 雄二 | 全国ホームホスピス協会 事務局長 | NTT 本社技術開発部、新規事業開発室等を経て外資系 IT 企業の日本法人設立に関わる。2001 年に宮崎市に移り、宮崎県 NPO マネージメントアドバイザーや BCP アドバイザーなどに携わる。準認定ファンドレイザー。 |
| 伊勢会場 | | |
| 遠藤太一郎 | いせ在宅医療クリニック 院長 | 1973 年、名古屋大学法学部卒業。会社勤務を経て、1981 年、三重大学医学部卒業。伊勢市立伊勢総合病院内科、三重県立一志病院内科、三重県立こころの医療センター内科等を経て、2002 年、いせ在宅医療クリニック開業。 |
| 佐々木克則 | (株) Balance Care 代表 取締役 | 東芝中央病院勤務中に動的足底挿板理論と出会う。1995 年、日本体育協会公認アスレティックトレーナー(AT)取得。2001 年、NPO 法人オーソティックソサイエティーを設立。ディモシステムス勤務等を経て、2018 年(株) Balance Care 創業。 |
| 榊原 千秋 | コンチネンスケアおま かせうんちっぴ代表 (同) プラスぼぼ代表。 | 「いのちにやさしいまちづくりネットワーク」を設立。がん患者・家族の支援活動・聞き書きサークルなど幅広い地域包括への貢献に対して、2015 年、保健文化賞を受賞。全国でコンチネンスケアの普及をはかる。 |
| 松本 京子 | ホームホスピス 神戸なごみの家 理事長 | 緩和ケア認定看護師の認定取得。なごみ代表。訪問看護・居宅介護支援・訪問介護事業開設。2009 年、ホームホスピス「神戸なごみの家 雲雀ヶ丘」開設。現在、神戸市内に 3 軒のホームホスピスや暮らしの保健室「なごみサロン」を開設。 |
| 宇都宮宏子 | 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表 | 京大医療技術短期大学部看護学科卒業。訪問看護 ST で管理・指導の立場で働くなか、病院から在宅に向けた専門的介入の必要性に気づき、京大病院で「退院調整看護師」として活動。2012 年より、在宅ケア移行支援研究所を起業、独立。 |
| 坂井 謙介 | 坂井歯科医院院長 | 1998 年長崎大学歯学部卒業。医学博士。名古屋大学医学部口腔外科、愛知県がんセンター中央病院を経て 2005 年、坂井歯科医院院長。口腔ケア学会指導医、摂食嚥下リハビリテーション学会認定士。がん患者の口腔ケア、高齢者や障害者の訪問診療にも力を入れる。 |
| 奥村 圭子 | 杉浦医院地域ケアステー ション「はらぺこパイ ス」室長 管理栄養士 | 食品会社の研究所に 10 年勤務。患者の血液分析などに携わった後、管理栄養士に。病院や高齢者施設、歯科医院、訪問介護などの経験を経て、望む暮らしを支援するために栄養ケアステーションをつくる。管理栄養士、ケアマネジャー、栄養学修士。 |
| 奥村 玄 | GEN プランニング代表 総務省地域づくりアド バイザー、等 | 東北大学工学部建築学科卒業 東京工業大学農村計画学研究室を経て、1974 年、(株)農村・都市計画研究所設立に参画。2005 年、(株) GEN プランニング設立。2006 年、一財) 世田谷トラストまちづくり勤務。現在、横浜市地域まちづくり推進委員、他。 |